

平成 28 年度第 2 回総合教育会議 資料

- 1 希望郷いわて国体後の競技力向上・スポーツ振興について
- 2 教職員の不祥事防止について

平成 28 年 12 月 19 日

教育委員会事務局教育企画室

希望郷いわて国体後の競技力向上・スポーツの振興について

方向性

岩手県文化・スポーツ振興戦略(案)

平成29年4月からの文化・スポーツに関する事務の知事部局への一元化に向けて、平成33年までの概ね5年間における岩手県の文化・スポーツ振興に係る指針

第1章 基本的な考え方 ～抜粋～

1 策定の趣旨

- 岩手には、多様なソフトパワーの源があり、そこに住む人の心と調和した真の豊かさがあること。
- ラグビーワールドカップ2019™の釜石開催や平泉の文化遺産の拡張登録に向けた取組などの機会を生かし、希望郷いわて国体・大会を通じて得た、競技力の向上や“おもてなし”などのレガシーを、次世代につなげていくことが求められていること。
- 文化・スポーツには、岩手の未来を切り拓く力があり、また、地域の誇りを高め、愛着を深めるなど、地域社会の一体感や活力の向上につながる。
- 県民が日常的に文化・スポーツに親しむこと等を通じて、県民一人ひとりの個性が輝き、創造性が発揮される社会の実現が期待されること。

2 戦略の位置付け

平成33年度までの概ね5年間に、県として戦略的に取り組む施策の指針

3 目指す姿

個性と創造性あふれる「ココロパワー・カラダパワー いわて」

第2章 戦略 ～抜粋～

戦略1 国体・大会のレガシーの継承と従来の枠を超えた文化・スポーツへの取組

- 1 ラグビーワールドカップ2019™の釜石開催の成功と大会後のレガシーを見据えた取組の推進
- 2 東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた地方が主役となる取組の推進
- 3 ポップカルチャーなど従来の文化の枠を超えたと取組の推進
- 4 アール・ブリュットに対する県民の理解増進及び活動支援

戦略2 県民の心を豊かにする文化芸術の振興

- 1 文化芸術に親しむ機会の提供や文化芸術を生かした地域づくりの推進
- 2 未来の文化芸術を担う人材の育成
- 3 文化芸術活動を支える環境の整備
- 4 世界文化遺産の価値や理念の発信、普及

戦略3 県民が元気になるスポーツの振興

- 1 **一人ひとりが楽しむことができるスポーツ社会の推進**
- 2 **競技力向上とトップアスリートの育成**
- 3 **スポーツ活動を支える環境の整備**
- 4 プロスポーツチーム等との連携やスポーツツーリズムの振興による地域活性化の推進

第3章 ライフステージごとの姿 ～省略～

第4章 戦略の推進 ～省略～

具体の取組方向

競技力の向上

1 オリンピックをはじめとする国際大会に向けた競技力の強化・選手の輩出

中長期的な視点に立ったジュニアの育成環境整備や計画的な選手育成に取り組むとともに、トップアスリートの活動を支援し、オリンピック等国際大会で活躍する選手の輩出を狙う。

- 【スーパーキッズの発掘・育成】
- 【強化活動費の補助】
- 【就職支援】 等

2 パラリンピックに向けた障がい者トップアスリートの育成・強化

関係団体等と連携し、本県障がい者トップアスリートの活動を支援し、パラリンピックで活躍する選手の輩出を狙う。

- 【強化活動費の補助】
- 【研修会等の実施】 等

3 「希望郷いわて国体」で培った指導体制・競技力の維持・発展

岩手国体を契機に、確立された各競技の一貫指導等指導体制を基に、本県全体の競技力を維持・発展させるための取組を推進する。

- 【強化合宿・遠征費の補助】
- 【高校生の競技力向上支援】
- 【中学生の競技力向上支援】
- 【特別強化指定校等への優秀指導者の配置】 等



4 競技力向上を担う指導者の育成

全国トップレベルの実績を有する指導者の活動を支援するとともに、本県指導者の資質向上を図る研修会等に取り組む、競技力向上につながるための事業を推進する。

- 【全国トップレベルの優秀指導者を招聘しての研修会実施】
- 【中央・海外研修会への派遣】 等

5 スポーツ医・科学を活用した競技力向上サポートの推進

アスレティックトレーナー（AT）の派遣やスポーツ医・科学データ活用等の取組の充実を図り、障がい者トップアスリートを含めた選手育成を効率的に進め、本県の競技力向上につなげる。

- 【サポートスタッフの派遣】
- 【選手データの分析と活用】
- 【運動部活動へのAT等の派遣】 等

スポーツの振興

1 スポーツを通じた健康・体力づくり

県民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境を整備するとともに、超高齢化や人口減少社会に対応するため、スポーツを通じた健康増進を図る。

- 【元気・体力アップ60運動による運動習慣形成・基礎体力の向上、多世代への拡大】
- 【スポーツ実施率の向上、運動習慣化支援】 等

2 地域のスポーツ環境の整備・充実

生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むために、一人ひとりのライフステージに応じた「する・みる・ささえる」様々なステージ活動を推進する。

- 【総合型クラブの育成支援】
- 【地域スポーツ指導者の資質向上】
- 【ボランティア活用促進、講習】
- 【体育授業、運動部活動への地域スポーツ指導者の派遣】 等



教職員の不祥事防止について

現状と不祥事防止に向けた課題

【現状】

・逮捕事案が本年度既に2件（昨年度6件）発生している外、体罰など教職員による不祥事の発生が後を絶たず、次のような影響が強く懸念される

- ①教育に対する**県民の信頼の低下**
- ②教職員の**士気への影響の懸念**
- ③教職員のみならず、**家族等の生活にも及ぶ大きな影響**

【教職員の懲戒処分件数】

(H28.11.15 現在)

	平成26年度			平成27年度			平成28年度					
	事務局等	小中	県立	計	事務局等	小中	県立	計	事務局等	小中	県立	計
道路交通法違反		8	2	10		6	4	10		3	1	4
体罰		3		3		2	1	3		1	3	4
わいせつ・セクハラ		2		2		2	1	3			1	1
その他		3	3	6		2	2	4		1		1
監督責任		2		2		1		1				
合計		18	5	23		13	8	21		5	5	10

【課題】

- ・全ての教職員に対する**コンプライアンスの意識の徹底**
- ・管理職による適切な**マネジメン**ト及び**リーダーシップ**の一層の向上
- ・不祥事を惹起させた教職員に対する**組織的な事後指導**の徹底
- ・ネット社会の進展等に対応した**様々なケースを想定した啓発**の徹底

不祥事防止に向けた今後の取組

◎ これまでの取組の一層の徹底

- ① **全ての教職員に対する取組の徹底**
所属長による定期的な注意喚起や職場研修など、職種、任用形態に関わらず全職員に徹底する
- ② **所属長による定期的な面談の徹底**
職員とのコミュニケーションを密にし、適切に職員の業務の状況、健康状況等を把握する
- ③ **体罰の防止の啓発強化**
感情の適切なコントロールに向けた研修（アンガーマネジメント研修）の内容を充実し、対象職員の拡大を図る
- ④ **管理職研修の内容の強化**
管理職のリーダーシップの向上、マネジメント意識の徹底を図るための研修内容の充実強化を図る

◎ 新たな取組の本年内の実施（12月14日に関係通知を发出）

- ① **「コンプライアンス宣言」の実施**
 - (1) 教育長によるコンプライアンス宣言
教育委員会を挙げて不祥事未然防止に向けて全力で取り組む「決意」を示す
 - (2) 各所属長によるコンプライアンス宣言
各所属長がそれぞれ、不祥事未然防止に向けた自身の「決意」を全ての所属職員に明確な形で示す
- ② **不祥事を起こした教職員に対する「事後研修」の実施**
不祥事を起こした教職員に対し、所属長による一定期間にわたる「事後研修」を義務付け、一層の反省を促すとともに再発の防止を図る
【懲戒処分を対象】 戒告3月、減給6月、停職1年
- ③ **職員啓発のための「コンプライアンス・マニュアル」の改訂**
近年、違法薬物等による逮捕事案が続けて発生した状況を踏まえ、「岩手県教職員コンプライアンス・マニュアル」に「薬物乱用」の項目を追加する

事後研修

